

JFE京浜水泳部 後援会報



2023年12月



JFE

発行：
水泳部後援会事務局

第6回[2023年度] 日本社会人選手権水泳競技大会 男子は準優勝(3年連続)、 女子は優勝(5連覇)を達成！！

【男子の部】

優勝	ミツウロコ	92点
2位	JFE京浜	89点
3位	TOYOTA	60点

【女子の部】

優勝	JFE京浜	100点
2位	あいおいニッセイ	68点
3位	ダッシュ新潟	52点



2023年11月11日(土)、12日(日)にダイエープロビスフェニックスプール(新潟県長岡市)にて開催された「第6回日本社会人選手権水泳競技大会」に参戦した我々がJFE京浜水泳部。

男子準優勝(3年連続)、女子優勝(5連覇)という結果を残しました！

< 男子 >

日本代表クラスの選手を多数擁して初優勝を狙うミツウロコとの一騎打ちとなりました。JFE京浜水泳部は各選手とも奮闘し、最終種目時点では僅差で首位を保っていましたが、最終種目の4×100Mメドレーリレーで逆転を許し、3年連続の準優勝という結果になりました。

50m背泳ぎ決勝
一番手前を泳ぐ滝澤選手
(JFEウイング)



1500m自由形決勝
7レーン:三島選手
(JFE物流京浜)



50m平泳ぎ決勝
大混戦の中、手前から3番目で泳ぐ
西尾選手(JFEプラントエンジ)



4×100mフリーリレー決勝
4レーン:第一泳者 上原選手
(JFEシビル)



<男子表彰台>

左:50m背泳ぎ3位
滝澤選手(JFEウイング)

中:4×100mフリーリレー2位
上原・川崎・山田・樋口選手

右:1500m自由形2位
三島選手(JFE物流京浜)



< 女子 >

各選手が2日にわたって複数種目にエントリーして体力的にも非常にシビアな状況の中、各人が確実に得点を稼ぎ、結果として見事優勝(5連覇)を果たしました。表彰台に上がる好成績を収めた選手もあり、個々人の強さも発揮してくれました。

200mバタフライ決勝
奥: 落合選手(トヨタ電気)



200m個人メドレー決勝
3レーン: 菊地選手(スチール研)
6レーン: 廣橋選手(丸江産業)
7レーン: 高橋選手(J&T環境)



< 女子表彰台 >

左: 200mバタフライ2位
落合選手(トヨタ電気)

中: 4×100mフリーリレー3位
金子・小西・落合・高橋選手

右: 200m個人メドレー
手前: 高橋選手(2位)
奥: 菊地選手(3位)



当日は遠方の中、後援会員の皆様、水泳部のご家族ほか、たくさんの方にお越しいただきました！

表彰台入賞種目

<個人種目>

種目		選手	所属	順位
男子	1500m自由形	三島 将嵩	JFE物流京浜	2位
	50m背泳ぎ	滝澤 有哉	JFEウイング	3位
	50m平泳ぎ	西尾 幸四郎	JFEプラントエンジ	3位
女子	200m自由形	高橋 美来	J&T環境	3位
	200mバタフライ	落合 すみれ	トヨタカ電気	2位
	200m個人メドレー	高橋 美来	J&T環境	2位
		菊地 智	S研_MI研究部	3位
400m個人メドレー	菊地 智	S研_MI研究部	3位	

<団体種目>

種目		選手(所属)		順位
男子	4×100m フリーリレー	上原(シビル)	川崎(J物京浜)	2位
		山田(J物京浜)	樋口(日本鑄鉄管)	
	4×100m メドレーリレー	滝澤(ウイング)	森(丸全昭和運輸)	3位
		團(昭特製作所)	樋口(鑄鉄管)	
女子	4×100m フリーリレー	金子(J&T環境)	小西(丸江産業)	3位
		落合(トヨタカ電気)	高橋(J&T環境)	

コロナ禍も明け、4年ぶりに観覧制限も完全になくなった本年の社会人選手権。遠方にも関わらず後援会の皆様、水泳部のご家族ほか非常にたくさんの方にご来場いただきました。

日々練習が出来、大会に臨むことが出来るのも、日頃よりご理解・ご協力をいただいている全ての後援会員の皆様のおかげであると、選手・スタッフ一同深く感謝しております。

今後ともJFE京浜水泳部をよろしくお願い致します。

後援会総会・水泳部納会を実施

～1年間の活動を締めくくりました～

JFE京浜水泳部は去る12月15日(金)にこの1年の活動の締めくくりとして、後援会総会・納会を開催しました。

後援会長である京浜地区・古米所長をはじめとして、約130名の方にご参加いただき、後援会活動報告・会計報告が行われました。その後、納会を開催し、会場一体となって選手・スタッフを労いました。

また本会の中で、2013年より水泳部監督を務められてきた小倉監督の今年限りでの退任、および竹本新監督の就任が発表されました。JFE京浜水泳部は来年から新体制のもと、日本社会人選手権での男女アベック優勝を目指し、今まで以上の努力を積み重ねていきます。引き続き皆様の熱いご声援を宜しくお願い致します！

※小倉監督、竹本新監督から後援会員の皆さまへのご挨拶は、年明け発行予定の「新春号」に掲載させていただきます。

古米後援会長ご挨拶



竹本新監督 就任ご挨拶



小倉監督 退任ご挨拶

